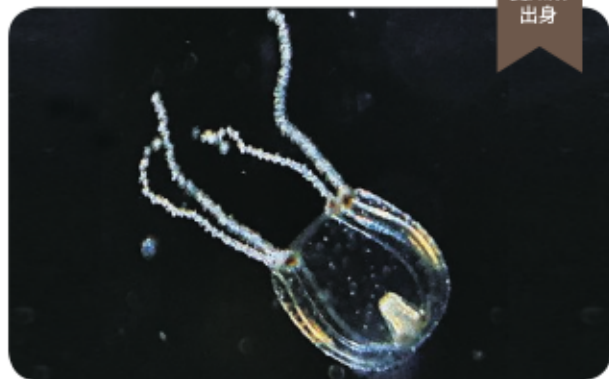


## 在学生の声

愛知県  
出身



オオタマウミヒドラ

### 海洋環境科学科 2年 (男子)

杜若高等学校卒業

#### ◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

私は幼少期から水産生物が好きだった。大学では、生物に関してはもちろん、それらを取り巻く環境や調査技術などを幅広く学びたいと考えたため、水産系に特化した本学を志望した。

#### ◆ 高校時代の得意科目は、受験の時に重点的に勉強した科目は？

得意科目：生物 重点的に勉強した科目：英語

#### ◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

生物のスケッチを行う実験や、乗船実習があり、生物の複雑な構造や生態、生息環境を学ぶことができる。趣味の範囲では知ることが難しいような知識を得ることや、貴重な経験を積むことができる。

#### ◆ 将来の夢、目標は？

クラゲに関する研究を行いたいと思っている。



千葉県  
出身



実習で訪れたベルゲン大学（ノルウェー）周辺の様子

### 海洋環境科学科 4年 (女子)

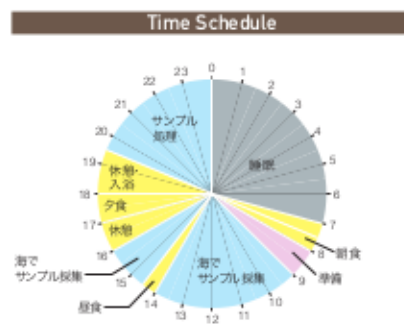
市川高等学校卒業

#### ◆ 高校時代の得意科目、受験の時に重点的に勉強した科目は？

英語が得意科目だった。重点的に勉強したのは数学だった。

#### ◆ 学科の特徴、変わっているところは？

とにかく実習が多いところだと考える。例えば、海洋学実習では、船に乗って海洋環境測定を行うとはどういうことか学んだ。船内生活を行いながら、専門の機器を用いて採水を行ったり、データ分析をしたりした。臨海生物学実習では、海洋生物を研究対象とするのはどういうことかを学んだ。実際に毎日海へ生物採集に行き、自分たちでとったものをサンプルとして実習を行った。さらに、海洋資源環境キャリア実習Ⅰでは、ノルウェーとスウェーデンへ行き、世界最先端の海洋研究を学んだ。現地の企業や大学研究者の方のお話を聞くことができ、環境に配慮しつつ、私たちの生活をより豊かにするための研究に触れることができた。私たちの勉学が、どのように社会へ生かされるのかを知り、大学での学習意義に改めて気付かされた。グローバルな視点での海洋研究を学ぶことができる、大変貴重な機会だった。



## 在学生の声



和歌山県  
出身

講義終わりに東京タワーまでお散歩

海洋資源エネルギー学科 4年（女子）  
和歌山県立日高高等学校卒業

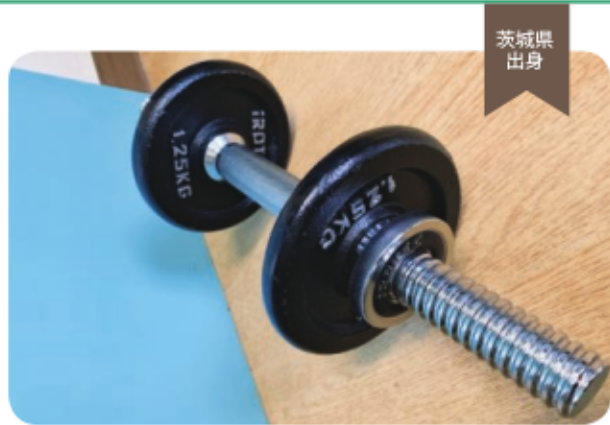
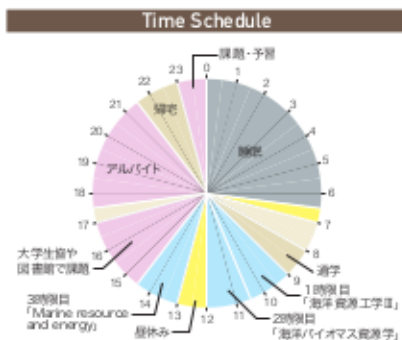
### ◆学科の特徴、変わっているところは？

幅広い研究対象をもつ学科です。メタンハイドレートなどの海底資源探査や海底熱水鉱床の海水分析、また、洋上風力や潮力、波力などの海洋エネルギーの発電利用などといった、海底下から海上までの様々な分野を学ぶことができます。

海について学びたいという思いがあれば、この学科で夢中になれる分野がきっと見つかるはずです。

### ◆実習の楽しさ、厳しさは？

得られる経験値は当然として、実習生活で友達と過ごす時間が一番楽しいです。船での実習は海況に左右されるので、意外と自由時間があつたりします。実習を通して絆が深めることができます。また、船酔いを予防できれば、船は快適な環境だと思います。私の場合は、船の丁度良い揺れに実習生活の夜はよく眠れませんでした。ただ船の規律や慣習は厳しいと思うことがあるかもしれませんが、それも学生という甘えを消し、身を締めつけてくれる良い機会になります。



茨城県  
出身

趣味の筋トレ

海洋資源エネルギー学科 2年（男子）  
茨城県立緑岡高等学校卒業

### ◆どうして東京海洋大学を選んだの？

研究のほかにも、乗船実習や南極観測など海洋大学でしかない体験もあります。実習では知識だけでなく就活や就職後にも生かせるスキルが身につくので就職の幅が広がります。また就職率が高いことだけでなく、近年は英語に力を入れたカリキュラムや海外探検隊など、グローバル化に対応しています。卒業後に、社会人としてよいスタートを切るために必要なことがそろった大学だと思いました。

### ◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

高校では物理をほぼ勉強していませんでした。授業を聞いてもほぼ理解できずついていけませんでした。補講をとり初學者向けの解説をもらうと理解できるようになりました。補講は少人数で一人一人見てくれたので、わからないことを聞きやすかったり、丁寧な解説をしてくれたりと初學者にとってありがたいものでした。生徒に任せきりにならず支えてくれるので、勉学にも自然と力が入ります。

